

授業科目名	ピアノ指導法講座Ⅰ	担当形態	演習		
		開講学期	春学期		
担当教員	大岡 訓子	単位	2	年次	3

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

音楽の導入と基礎について指導できることを目標とします。ピアノを指導するにあたり、音楽の導入はとても大切です。歌う、聴く、体でリズムを感じる、イメージを持つなど、感覚的な部分に様々なアイデアをもち、柔軟に楽しくできる指導法を身につけます。導入期を中心に、バロック、古典、ロマン派、近現代の多数の教材、作品を使用して、基礎的な指導とは何かを学びます。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

授業で使用する楽譜プリントを配布します。毎週のテーマにより、講義、討論、実践を行います。

### ＝授業の概要＝

脳の神経回路は12歳頃までにできあがるといわれています。授業では、3～10歳の子供を対象とした指導法を具体的に学習します。日本の教育制度、家庭環境の中で、その後の10～15歳をどう過ごすかが、重要だと考えられます。生徒個人の年齢、成長に応じて、良い面を見つけて伸ばし、楽しくできる指導法を身につけます。

### ＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバスの確認
- 2回 導入期の指導について
- 3回 導入期の教材を用いた指導法 その1
- 4回 導入期の教材を用いた指導法 その2
- 5回 導入期におけるソルフェージュの活用
- 6回 耳から導入する指導法
- 7回 バロック音楽の指導法
- 8回 古典派音楽の指導法
- 9回 ロマン派音楽の指導法
- 10回 テクニックについて
- 11回 ロシア音楽を題材にした「旋律を歌う」指導法
- 12回 バルトーク、近現代、邦人作曲家を題材とした指導法
- 13回 アメリカの教材を用いた指導法
- 14回 レッスン体験 その1
- 15回 レッスン体験 その2

### ＝テキスト（必携）＝

### ＝参考書・参考資料（必携）＝

ピアノドリーム、バーナム、メトードローズ、プレ・インヴェンション、リトルコスモス、ピアノコスモスシュール、ソナチネアルバム、バルトーク子供のための小品、バスティン、チャイコフスキー子供のための作品、ミヨシメソード、平吉毅州 虹のリズム、田中カレン 星の動物たち、ショパンの小品、シューマン ユーゲントアルバム、ロシア奏法によるピアノ教本 ほか

**=成績評価の方法と評価の基準=**

レポートにより評価します。授業への積極的な参加は加点の対象となります。

**=その他=**